

『高柳記念未来技術創造拠点形成事業記念行事』が開催されました。

去る平成19年11月10日（土）に、「高柳記念未来技術創造拠点形成事業記念行事」が開催されました。午前10時より高柳記念未来技術創造館のオープニングセレモニーおよび見学会が来賓、招待客、OB等多くの方々の参加のもと行われました。午後からは、場所をアクトシティ浜松に変え、静岡大学吹奏楽団演奏、記念式典、浜松キャンパスの歴史と現状および未来創造、特別講演会、懇親会が行われました。米国カリフォルニア大学教授 中村修二先生による特別講演会（演題：「青色発光ダイオードの開発」）には多くの市民のご参加があり、会場の中ホールは溢れんばかりでした。

なお、高柳記念未来技術創造館は常時開館（10時～16時、月曜休館、土日も開館）しており、一般の皆様にも開放されておりますので、ご見学下さい。



高柳記念未来技術創造館でのテープカット



アクトシティ浜松中ホールで行われた記念式典



中村修二先生の特別講演会



オークラアクトシティホテルで行われた懇親会

偉業受け継ぎ 人材の育成を

未来技術創造館完成

テレビの父
高柳さん紹介

浜松高等工業学校(現静岡大工学部)出身のテレビの父、高柳健次郎さん(一八九九―一九九〇)を記念した静岡大の「高柳記念未来技術創造館」の完成記念式典(中日新聞東海本社後援)が十日、浜松市中区のアクトシティ浜松であった。(鎮西努)

創造館は高柳さんが一九二六年に世界で初めてブラウン管に文字を映すのに成功してから八十周年を迎えたのを機に、静岡大浜松キャンパス(浜松市中区城北)の高柳記念館を改修してオープンした。

同大の興直孝学長は「高柳先生の偉業を引き継ぎ、光工学や情報技術などの拠点づくり、人材育成に努めたい」と功績

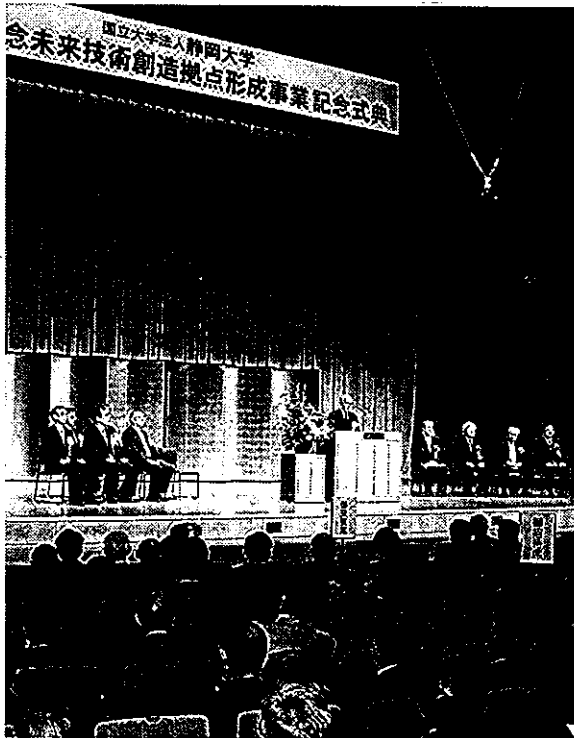
静大の記念館改修、公開

来賓の書馬輝夫さん(浜松ホトニクス会長)は「高柳さんは浜松の母に東京の歌舞伎を見せてあげたいとテレビ技術を発明した。ものづくりの奥にある人の心、スピリットを持った学生をつくらなければならない」と激励し、石川嘉延県知事も「静岡大工学部の実績は県にとっても大きな財産」と祝辞を贈った。

青色発光ダイオードの発明で知られる米カリフォルニア大の中村修二教授の講演会もあった。

創造館は十日から一般公開を始めた。月曜日休館(祝日の場合は翌日)。観覧無料。

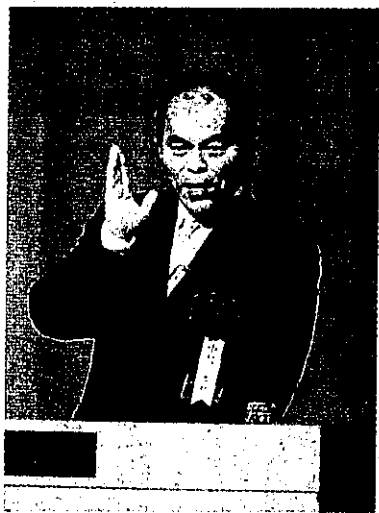
問い合わせは同館＝053(478)1402。



創造館の完成を祝った記念式典―浜松市中区で

LED開発秘話を紹介

テレビ生みの親
故高柳氏顕彰
中村修二教授が講演



テレビの生みの親として知られる故高柳健次郎氏を顕彰する「高柳記念未来技術創造拠点形成事業」の記念式典(静岡新聞社・静岡放送後援)が十日、浜松市中区板屋町のアクトシティ浜松で開かれた。青色発光ダイオード(LED)の開発で開発、実用化に成功した。知られる米カリフォルニア大の中村修二教授が特別講演し、大学関係者ら約千人が「開発秘話」に熱心に耳を傾けた。中村教授は徳島県の日亜化学工業に入社後、平成五年にLEDを独力で

開発、実用化に成功した。講演では予算も人手も足りない状況での開発の苦労をユーモアを交えて語り、アメリカと日本の大学の教育事情や職業観の違いに触れ「世界を動かす研究者を育てる、幅広い教育が必要」と話した。

顕彰事業は高柳氏の研究舞台となった静岡大が一年前に開始。この日は浜松市中区城北の静岡大
青色発光ダイオードの開発について語る中村教授
浜松市中区のアクトシティ浜松

浜松キャンパス内にある高柳記念館が改装オープンし、来賓を交えてセレモニーが行われた。